

旭

印刷を支え加工を活かす

西原 由里花さん

場内部門

紙の束がふわりと宙を舞い、寸分の狂いもなく積み上げられていく。機械がスムーズに動き出す前の、その静かな手仕事。そこに品質を支える重要なカギが隠されていました。「当たり前」の中に潜む技術、そして西原さんの品質へのひたむきな思いに迫ります。



「仕事で最も「技」が試される
と感じる部分はどこですか？」

中綴じ工程を担当していた頃、機械へ紙を積み込む作業には特に注意を払っていました。紙と紙の間に空気が入るよう積まなければ、紙詰まりや給紙不良が発生してしまうからです。また、ペラペラとした薄い紙だと、「揃える技術」も求められます。しっかりと上下に揺らして空気を入れつつ、きれいに揃えながら紙束の山を作らなければなりません。

「その技術を習得するために、
どのような努力や工夫をされてきましたか？」

先輩から「もつと空気を入れながら揃えた方がいいよ」というアドバイスを受け、自分なりの感覚を養っていきました。先輩がどのように紙を捌いているのか。どのような角度で空気を入れているのか。その動きを観察し、自分でも真似てみるという繰り返しです。数か月が経った頃には感覚が掴めてきたのを実感し、半年に達する頃にはある程度できるようになりました。そして、先輩から教わったことは、新しくできた後輩へ。やはり、実践するシーンを見てもらうことが大切だと思います。

「旭紙工の製品の「品質」を支えるために一番大切にしていることを教えてください。」

何をもってしても、不良品を出さないことです。検品時に少しでも不



「社員の皆さんへ伝えたいことはありますか？」

繁忙期に入るため、忙しい時期が続くかと思いますが、社員全員で協力して乗り越えていきましょう。また、体調不良等にも気をつけて頑張っていきましょう。

先輩から後輩へと受け継いでいく技術のたすき。その一つひとつが、当社が長きにわたって培ってきた品質を支えています。西原さんもまた当事者の1人として、旭紙工のさらなる進化に貢献してくれるはずです。

企業情報

- ◆ 創 立 年：1983 年 1 月
- ※ 創業：1963 年
- ◆ 年 商：17.6 億円
- ◆ 従業員数：200 人

※ 2023 年 12 月実績



ビジョンとパッション

第19弾

会社の成長を数字で支える、管理本部 本部長の森本さん。その冷静な視線の奥には、次世代へ経験をつなぐ熱い使命感と、共に働く仲間たちへの深い感謝の想いがありました。今回は変化の時代を乗り越えるための柔軟な思考と、仕事の信念に迫ります。

旭紙工の
ここがすごい！

旭紙工の強み

高い技術・生産能力と、 「人」を育む力

当社の強みは、技術力、生産能力、そして社員の商品に対する強いこだわりです。経理の立場から、直接現場を見る機会は多くありません。しかし朝礼での皆さんの発言から、商品に真摯に向き合う姿勢や、技術力の高さを日々感じています。

また、多様な機械でお客様の要望に応える生産能力も強みの1つ。人手不足が叫ばれる中、当社では年々社員が増えています。社長が毎年3か月かけて各地の学校を訪問し、当社の魅力を伝えてくださっているおかげでしょう。タイからの実習生も80名以上受け入れるなど、人材確保にも積極的。管理部門から見ても、この「人」を大切に作る姿勢が成長の基盤だと感じます。

今後長期的に成し遂げたいこと

全社一丸で築く、 利益体質と財務基盤

長期的な目標は「利益体質への変革」「財務基盤の強化」「自己資本比率の向上」です。利益体質を実現するためには、固定経費の抑制が重要。人件費や減価償却費などの経費を計画的に管理し、むだをなくす努力を続けます。また、機械導入に伴う借入金が大きいため、これを早期に返済しつつ、内部留保を厚くして財務基盤を強化したいところ。目標は、5～10年で自己資本比率を20%以上に引き上げることです。これは管理本部だけで達成できるものではありません。私たちが指針を明確に示し、全社一丸となって目標に向かうために、連携を強固にしていきたいと考えています。



森本さんの 考えとは？

管理本部 本部長

もりもと ひでき
森本 英植さん



仕事をする上での信念

的確な指針を示し、 会社の未来へつなぐ

40年以上、経理・財務に携わる中で変わらない信念は、会社の状況を正確かつ迅速に把握し、次の一手を示すことです。利益が出そうであれば社員への還元を考え、利益が出なければ経費の見直し策を示す。皆さんの理解と協力を得て会社を導くのが、私の役割です。

また年齢的に、会社にいる時間も限られてきました。だからこそ、これまで培ってきた経験や知識を次の世代に引き継ぐことも、重要な使命だと考えています。

仕事をする上で大切にしている考え方

変化に対応する柔軟さと、 仲間への信頼

税法や会計システムは時代と共に変化するため、常にアンテナを張り、新しい仕組みを取り入れる柔軟性が不可欠です。会計の根本は変わりませんが、システムの進化により、データ分析や経営判断は格段にしやすくなりました。また仕事をする上で、管理本部の仲間たちの存在も欠かせません。少数精鋭ですが、優秀なメンバーにいつも助けられています。時代の変化に対し、迅速に対応できているのは皆さんのおかげ。いつも感謝しています。

